

## 2023年度【フラット35】利用者調査結果

### I 調査の概要

本調査は、【フラット35】(買取型及び保証型)の利用者データを集計し、【フラット35】の利用状況を取りまとめたものです。本調査は2004年度から継続して実施しています。

(今回の調査対象)

2023年度(2023年4月～2024年3月)の買取承認案件及び付保承認案件(借換え案件を除く32,382件)

### II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

#### ○ 中古住宅の利用割合が増加 <p. 3>

【フラット35】の利用状況を融資区分別(建て方別)に見ると、中古住宅(中古戸建・中古マンション)の利用割合は前年度から3.3ポイント増加して27.4%となった。

- ・中古住宅の利用割合：27.4% (前年度比+3.3ポイント)

(内訳)

- ・中古戸建の利用割合：15.3% (前年度比+2.5ポイント)
- ・中古マンションの利用割合：12.1% (前年度比+0.8ポイント)

#### ○ 世帯年収は増加 <p. 8>

【フラット35】利用者の平均世帯年収(注)は、2021年度以降増加傾向にあり、2023年度は661万円(前年度+27万円)となった。

(注) 本人及び収入合算者の合計

#### ○ 中古住宅の築後年数は増加 <p. 15、p. 16>

中古住宅(中古戸建・中古マンション)の平均築後年数は増加傾向が続いている。

- ・中古戸建：23.0年(前年度比+2.1年)
- ・中古マンション：28.7年(前年度比+1.7年)